事業実績書

団体名	秋穂二島地区連合自治会

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

「HOT愛を二島」(人づくり・オンリーワンづくり・トータル拠点づくり)に取り組み、理想郷「二島」を 創造する。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

	視点	きれいで住みよい二島づくり		
(I)	事業名	定住促進事業	決算額	215,655
<u> </u>	視点	安心・安全な二島づくり		
2	事業名	地域防災活動推進	決算額	216,034
(3)	視点	健康で元気な二島づくり(子育て支援事業)		
(3)	事業名	子育て支援活動事業	決算額	96,571

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①平成29年11月に「住もう家」を立ち上げ、6年5か月が経過しました。その間の空き家・空き地登録数は58件ありました。成約に至ったのは34件(今年度4件)、102人(今年度7人)が移住されました。「お試し暮らし住宅」の利用は17件(今年度0件)ありました。 今後も確実に成約につながっている「お試し暮らし住宅」の取り組みを継続して学校見学、農業体験、地域住民との交流などの利用者の要望に応じた体験メニューのコーディネイトを行い、各集落の定住サポーター・自治会長と連携した情報の収集、登録物件を、利用登録者等に対する情報の発信をしながら、子育て世代の移住を目指し取り組みができるよう進めて行きます。	0
②「子ども会連」の行事に参加し防災講座、避難所用品の組み立てを親子で実施、防災士(地域防災アドバイザー)を1名養成、ふたじま祭り会場や交流センターでハザードマップ・備蓄食料・非常持ち出し用品などを展示し啓発を実施しました。6月~10月の夜に事務局・役員・自治会へ配備しているデジタル無線機での交信訓練を3回実施しました。今後も防災講座・研修を実施、防災士(地域防災アドバイザー)養成、自治会の自主防災組織立ち上げ支援に取り組み、地域の防災意識の向上を目指します。	0
③子育て支援事業では「子ども広場」や「クリスマス会」、「あそぼう家」10周年記念事業を実施し地域内外から乳児及び未就園児親子の参加がありました。 イベントの開催や利用者のニーズに合った内容の講座や交流事業を企画し、地域の魅力度を高め、定住・移住人口増加に繋がる取り組みを進めます。	©

○(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

「ふたじま祭り」に地域内外から多くの参加があり、笑顔の交流が復活してきました。また今年度は子ども会会員を対象に防災講座を開催し、若い世代に防災に関する啓発を実施しました。

「HOT愛を二島」を理念に、地域づくり活動をより多くの住民に知っていただき、行事に進んで参加していただけるよう、住民が協力し合い、助け合う地域づくりを進めていきます。

地域資源を活用する新たな事業の計画にも取り組んでいきます。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	4,055,605
	(事務員等の雇用人数) 事務局長1人 事務員2人(実質0.85人)
	(運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費(複合機リース、電話、事務用品等)
事務局の	(成果・評価) 事務局長1人、事務局員2人 計3人体制で運営しています。 令和6年度から新事務局長を迎えることができました。
運営体制	(今後に向けて) 令和元年度から取り組んでいる世代交代、人材育成を計画的に進めます。

(2)地域振興

事業名	地域活性化事業
事業費	634,761
	(実施内容)「ふたじま祭り」「ナイターリーグ祭り」(8/6夜)及び「秋のふれあいの会」 (11/30高齢者対象)の開催等を支援
	・屋外イベント向けとしてワイヤレスアンテナ及び同軸ケーブルを整備
	(実施時期) 10/27、8/6、11/30ほか
事業概要	(参加人数) 約1840人(体育祭500人、ナイターリーグ300人、祭り1000人、ふれあいの会40人)
	(成果) 新たな内容を企画、地域内の交流、発表の場が戻ってきました。
	(評価) 協議を重ねることで、委員の一体感が感じられ、新たな発想による事業が展開できた。
	(今後に向けて) 色々な視点から企画内容を見直し事業を進める。

事業名	サタデープラン活動推進事業
事業費	120,000
	(実施内容)潮干狩り・エビ狩り
	(実施時期) 8月26日
事業概要	(参加人数)約100人
	(成果) 多世代交流の場を提供できた。
	(評価) 夏休みのイベントとして定着している。地域資源の活用とPRになっている。
	(今後に向けて) 潮汐時間待ちの間に、海洋資源を活用した体験型事業を実施したい。

事業名	地域とともにある学校づくり支援
事業費	100,000
	(実施内容) 幟•横断幕作成掲示
	(実施時期) 通年
事業概要	(参加人数)約160人
	(成果)地域内にPRすることができた。
	(評価)地域住民との交流につながった。
	(今後に向けて)小学校・中学校年代に見合った体験・地域の人との交流を目指す。

事業名	子ども会連活動事業
事業費	350,000
	(実施内容) ジュニアリーダ研修など各種参加、大原湖キャンプ、子ども会フェス、
	ふたじま祭り参加、山登り他
	(実施時期) 通年
事業概要	(参加人数) 377人 (モルック、eスポ、クリスマスキャラバン)
	(成果) イベントには親子で多くの参加があり、地域から支援者の参加がある。。
	(評価) 親子や地域との交流と自然体験を通じて、豊かな人間形成につながった。
	(今後に向けて) 新たな交流事業の見直し、子ども会員以外からの参加者の増加を図る。

事業名	たんぽぽ学級支援委員と学級児童の交流事業
事業費	19,887
	(実施内容)「たんぽぽ学級」交流事業
	(実施時期) 3月
事業概要	(参加人数) 54人
	(成果) 支援員と学級児童との交流及びふれあいを持つことができた。
	(評価) 前庭の景観が向上し、学級が家庭的な雰囲気に包まれている。
	(今後に向けて) 上級生から下級生までが助け合い・協力し合える活動を企画する。

事業名	講演会等定期開催
事業費	0
	(実施内容)
	(実施時期)
事業概要	(参加人数)
	(成果)
	(評価)
	(今後に向けて) 地域団体と連携して講演会を実施する。

事業名	広報紙発行とSNSからの情報発信
事業費	143,819
	(実施内容) 自治会広報紙 2回 事務局だより2回 SNSでの発信
	風景写真を募集し、表彰を行った。
	(実施時期) 7、1月 5、9月 通年
事業概要	(成果) 発行回数を増やすことができた。(消すかけさないか)
	(評価) 複数の手段でより多くの情報発信ができた。
	(今後に向けて) 内容の充実と、より多くの方に読んでもらえる紙面づくりに務める。

事業名	自治会活動推進事業
事業費	28,765
	(実施内容) ①地域独自の電話番号表を全戸配布
	②新たな委員に「Hot♡Futajima」のロゴ入り帽子を配布
	(実施時期) 通年
事業概要	(成果) 地域づくり活動への理解、啓発につながった。
	(評価) 連合自治会としての活動のPRになった
	(今後に向けて) 新任の自治会長および団体の代表者に配布する。

(3)地域福祉

事業名	子育て支援活動事業
事業費	96,571
	(実施内容) ①「子ども広場」 ②母推クリスマス会 ③あそぼう家 ④カレンダー購入
	(実施時期) 通年
事業概要	(参加人数)119人
	(成果) 地域内外の方、中学生ボランティアの参加があった。
	今年で10周年を迎えたイベント(あそぼう家)では、おやカフェを含む8団体の協力のもと、
	参加者からの好評を得た。
	(評価) 同世代の親子の参加でつながりができている。
	(今後に向けて)参加者のアンケート等により、新しい取り組みをする。

事業名	地域課題研究·研修
事業費	230,000
事業概要	(実施内容)老人クラブの研修、地域づくり・福祉活動計画印刷
	(実施時期) 通年
	(参加人数) 30人
	(成果)会員間の情報交換と地域課題を共有することができた。
	(評価)老人クラブ会員数120余りに対して参加者は20名と少ない。
	(今後に向けて)参加者を増やすための啓発方法を工夫する。

事業名	料理教室事業他
事業費	31,137
事業概要	(実施内容) 調理教室の開催
	(実施時期) 9月28日
	(参加人数) 33人
	(成果) 栄養面からの健康づくりへの意識と実践意欲の高揚に繋がった。
	(評価) 季節に合った地元食材を使用した料理は、参加者から好評であった。
	(今後に向けて) 新たな参加者を募る。

事業名	健康増進事業
事業費	51,640
事業概要	(実施内容) 健康寿命を延ばす健康講座
	活動量計を使ったウォーキング講習、リンパ体操(65歳以上)、栄養講話、生活習慣病改善法講話、体組成測定データ比較
	(実施時期) 2月13日
	(参加人数) 82人
	(成果) 運動と食の両面から見た内容は健康寿命に対する理解が得られた。
	(評価) 体操に栄養面を取り入れた内容は、参加者からの好評が得られた。
	(今後に向けて) 継続事業として、健康づくりを支援していく。

(4)安心•安全

事業名	地域交通安全活動事業
事業費	63,750
事業概要	(実施内容) ①交通安全立哨・安全旗掲出 ②交通安全用備品の購入(幟、安全ベスト、帽子)
	(実施時期) 4月~3月 (参加人数) 6回 142名
	(成果) 交通安全週間等では多くの交差点での立哨時に活用されている。
	(評価) 地域内の交通安全に寄与している。
	(今後に向けて) 新規に就任された委員に配布する。

事業名	地域防災活動推進
事業費	216,034
事業概要	(実施内容) ①ふたじま祭り・交流センターに防災用品の展示・啓発 ②子ども会向け防災 研修 ③防災用デジタル無線機の維持管理・送受信訓練④防災啓発訓練用品、避難所 開設用品の購入(アンテナ、トランシーバー)
	(実施時期)6月~3月
	(参加人数) 142人
	(成果) 防災意識が高まった。無線による緊急時(停電時)の連絡確認ができた。
	(評価) 避難所設営・運営を多くの住民が経験できた。 防災士(防災アドバイザー)1名養成
	(今後に向けて) 防災訓練、防災研修の継続と評価・改善を継続する。防災アドバイザー (防災士)の養成に取り組む。

事業名	危険箇所看板•反射鏡設置
事業費	52,690
	(実施内容) カーブミラー購入
	(実施時期) 3月
事業概要	(参加人数) 3名
	(成果) 市道への出る際の安全確認がしやすくなった。
	(評価) 事故防止に寄与できた。
	(今後に向けて) 継続して各自治会に地域内点検を呼びかける。

事業名	安心な地域活動の推進
事業費	91,400
事業概要	(実施内容)啓発・地域内巡回、マグネットシート(防犯パトロール)作成、 安心・安全メモを全戸配布
	(実施時期) 通年
	(参加人数) 41人(各集落防犯委員)
	(成果)年間16日の活動があった。
	(評価) 地域内への啓発と防犯につながる。
	(今後に向けて) 地域の安心・安全のための活動を支援する。

(5)環境づくり

事業名	地区花いっぱい運動支援
事業費	45,000
事業概要	(実施内容) 子ども会花壇用苗の購入
	(実施時期) 通年
	(参加人数) 218人
	(成果) 地域の人が集まる場所に花壇があり、癒し・美化ができた。
	(評価) 親子で作業することが少なくなり、開花時期が楽しみ(8月にコンテスト)
	(今後に向けて) 年間を通して、継続していく。

事業名	環境整備事業
事業費	72,721
事業概要	(実施内容) ①海岸清掃活動②ヘリポート除草作業③自走式草刈機の整備・消耗品購入
	④別事業による市道沿線の除草(総延長約23km)
	(実施時期) 5月27日:104人、7月20日:20人、9月23日140人
	(参加人数) 264人
	(成果) 子どもから高齢者まで、多くの住民が参加している。
	海岸清掃ではキャンプ利用者や企業からも参加され交流の輪が広がっている。
	(評価) 海岸や道路の環境美化に貢献した。 臨時ヘリポートが適切に維持されている。
	(今後に向けて) 計画的に地域内の環境整備に取り組む。

事業名	定住促進事業
事業費	215,655
事業概要	(実施内容) 「空き家、空き地バンク」・「お試し暮らし住宅」の運営を実施。啓発としてアンケート、事業協力者から 記念品の購入、物件登録・移住者への記念品贈呈、移住者とサポーターとの交流、学校案内などを実施。 (実施時期) 通年
	(参加人数) サポーター20人 お試し利用0人 成約7人
	(成果) 物件登録8件、成約4件(7人)、お試し利用0世帯
	(評価) 事業開始から6年余りで102人の移住者があり、地域活動へも 積極的に参加希望されるなど、二島に住んで良かったと言われている。 登録者においても空き家対策に協力的。
	(今後に向けて) 地域内の物件「空き家・空き地」の掘り起こし及び登録勧奨 を集落自治会長・定住サポーターが連携して、取り組む。

事業名	清掃活動助成事業
事業費	45,000
事業概要	(実施内容) 自治会の清掃活動への支援
	(実施時期) 11月
	(参加人数) 200人
	(成果) 地域の清掃活動へ若い人(特に小学生・中学生)の参加がある。
	(評価) 親子での参加が多く、地域住民間の交流の場となっている。
	(今後に向けて) 今後も支援を継続していく。

事業名	土木工事 (法定外公共物整備事業)
事業費	2,668,000
	(実施内容)舗装工事5箇所、水路修繕1箇所
	(実施時期) 通年
事業概要	(参加人数)
	(成果)通学路や生活道路が舗装され、安心して通行できるようになった。
	(評価) 現地視察とヒアリングを実施しながら進めている。
	近年は予算が不足し、他の事業費から流用して実施している。
	(今後に向けて) 要望か所の情報収集と、事業実施要綱を周知する。

(6)地域個性創出

事業名	各地区開催活性化事業
事業費	80,000
事業概要	(実施内容)各自治会のまつり等交流事業への支援
	(実施時期) 通年
	(参加人数) 420人(4自治会)
	(成果) 各集落で多世代の交流ができた。
	(評価)継続事業として、活性化が図られている。
	(今後に向けて) 支援を継続し、全集落で実施されるよう働きかける。

事業名	兜山古墳整備事業
事業費	164,896
事業概要	(実施内容) 古墳アクセス道からの土砂の流出対策を実施
	(実施時期) 3月
	(参加人数) 26人
	(成果)兜山古墳周辺の景観が維持されている。
	(評価) 多くの場所で桜の開花があり、利用者からも好評をいただいている。
	(今後に向けて) 兜山古墳整備を定期的に実施し、景観及び散策体制の向上を行う。